

作成日 2019/08/14
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アルコール除菌剤
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M190814

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B 発がん性 区分1A 生殖毒性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(中枢神経系) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H226 引火性液体及び蒸気
H320 眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H350 発がんのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地すること。アースをとること。(P240)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)

	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280) 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313) 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314) 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313) 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
応急措置	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233) 換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235) 施錠して保管すること。(P405)
保管	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
廃棄	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エタノール	50.18%	CH ₃ CH ₂ OH	(2)-202	既存	64-17-5
DL-リンゴ酸	0.35%	不明	不明	不明	不明
グリセリン脂肪酸エステル	0.30%	不明	不明	不明	不明
DL-リンゴ酸ナトリウム	0.06%	不明	不明	不明	不明
水	49.11%	不明	不明	不明	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

眼に入った場合
粘膜に触れた場合
飲み込んだ場合

大量の水で洗い流す。
大量の水で洗い流す。
水を飲ませる等の処置をし、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤
特有の消火方法

棒状放水
(周辺火災の場合)

消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。

(着火した場合)

速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。移動不可能な場合には、容器および周辺に対して適切な消火剤で消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。

環境に対する注意事項

屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
多量の場合、人を安全に退避させる。
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を
起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切
に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で
吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく
拭き取る。

多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所
に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行
うための設備を設置する。

局所排気・全体換気

火気その他着火源(静電を含む)から隔離する。
漏れ、あふれ、又は飛散しないように注意し、換気を
充分に行う。

安全取扱注意事項

取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。
みだりに加熱、加減圧したり、噴霧、蒸散させない。
塩素系の製品との接触を避ける。塩素系の製品と接
触すると、塩素ガスを発生する。

保管

安全な保管条件

保管は冷暗所に密閉保管し、子供の手の届かない所
に置き、転倒、落下、破損、漏洩のないように注意す
る。日光や熱などの影響で匂いに変化する恐れがあ
る。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器
を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
水	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器の保護具

有機溶剤用マスク

手の保護具

ゴム手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護
具

保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体

形状

液体

色

無色透明

臭い

アルコールのにおいとほのかなシトラス香

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH		4.0±0.5(原液、25° C)
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		24.0000°C (その他)
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		0.920(15° C、代表値として)
溶解度		水と任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の取扱い条件においては安定。 日光、熱の影響で匂いに変化する恐れがある。
危険有害反応可能性		塩素系のものと接触すると有毒な塩素ガスが発生する。
避けるべき条件		塩素系物質との接触。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分外に該当 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼区分2Bの成分合計が50.18%のため、区分2Bに該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性)

<p>生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性</p>	<p>データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 区分1Aの成分が50.18%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性) 区分1Aの成分が50.18%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。</p>
<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</p>	<p>区分3(麻酔作用)の成分合計が50.18%のため、区分3(麻酔作用)に該当。</p>
<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>区分3(気道刺激性)の成分合計が50.18%のため、区分3(気道刺激性)に該当。 区分1(肝臓)の成分が50.18%のため、区分1(肝臓)に該当。 区分2(中枢神経系)の成分が50.18%のため、区分2(中枢神経系)に該当。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>動粘性率が不明のため、分類できないに該当。</p>

12. 環境影響情報

<p>水生環境有害性(急性)</p>	<p>(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。</p>
<p>水生環境有害性(長期間)</p>	<p>(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。</p>
<p>オゾン層への有害性</p>	<p>データ不足のため分類できない。</p>

13. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>	<p>容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

<p>国際規制</p>	<p>海上規制情報 UN No. 1170 Proper Shipping Name エタノール溶液 Class 3 Packing Group III Marine Pollutant Not applicable Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code. Not applicable</p>	<p>IMOの規定に従う。</p>
<p>国際規制</p>	<p>航空規制情報 UN No. 1170 Proper Shipping Name エタノール溶液 Class 3</p>	<p>ICAO/IATAの規定に従う。</p>

国内規制	Packing Group 陸上規制 海上規制情報 国連番号 品名 クラス 容器等級 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	III 非該当 船舶安全法の規定に従う。 1170 エタノール溶液 3 III 非該当 非該当
------	--	---

緊急時応急措置指針番号	航空規制情報 国連番号 品名 クラス 等級	航空法の規定に従う。 1170 エタノール溶液 3 III 127
-------------	-----------------------------------	--

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

大気汚染防止法
海洋汚染防止法

エタノール(政令番号:61)(50%-60%)
 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
 油性混合物(施行規則第2条の2)
 有害でない物質(施行令別表第1の2)
 有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81))

外国為替及び外国貿易法

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

船舶安全法
航空法

輸出貿易管理令別表第1の16の項
 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法

その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
 NITE GHS分類結果一覧
 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。